

# KRC WEB REPORT

## KRC ウェブレポート

2004年12月14日号 No.021

今月のキーワード：革新技術開発研究事業

### 徒然手帳

気がつけば師走。皆様にはいかがお過ごし的一年でしたか。バブル崩壊の挫折をこえ、新しい独創的技術に再生を期してはや10年。今年はそのような新世界の技術の若芽がようやく天に向かって伸び始めたように感じた一年でした。3D レーザー、EM センサ、光ファイバーセンサなどが、基礎研究を終わって実用化が進み始めました。一方では、耐用年数に達する基盤構造物の劣化や、地震・台風による自然災害、異常気象に対応するための河川堤防の再検討など、新時代に生まれかわろうとする社会からの期待も感じられます。本当に役に立つ技術を提供できる会社になる、来年はそういう年になりたいと願っています。皆様、よいお年を！



KRC の最新技術

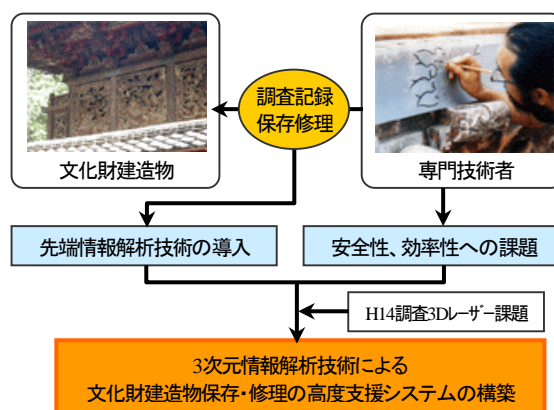
### KRC TECHNICAL TOPICS

#### 「革新技術開発研究事業」の平成16年度採択課題に決定

このたび、当社の「三次元情報解析技術等の応用による文化財建造物保存・修理の高度支援システムの開発」が、(独) 科学技術振興機構(理事長 沖村憲樹)の「革新技術開発研究事業」の平成16年度採択課題に採択され、9月より本事業の研究開発を開始しました。

革新技術開発研究事業は、民間等の有する革新性の高い独創的な技術シーズを、より革新的かつ実用的な技術へ育成することによって、新産業の創出を促すことを目的として創設されたもので、平成16年度は539件の応募があり、その中から28件が採択されました。

当社の研究事業は、3Dレーザー等の先端情報解析技術により、文化財建造物の保存・修理における設計画検討、構造補強検討、彩色検討、修理方針策定(現状変更)等を支援する「文化財建造物保存・修理の支援システム」を構築するものです。これまで、文化財建造物の調査や保存修理等については、卓越する専門知識、技量を保持する専門技術者・技能者が伝統的技法を駆使して実施してきましたが、今後は、そのさらなる高度化、効率化、さらに急速に発展しつつある先端情報解析技術による支援が必要となっています。また、平成14年度に行われた「マルチメディアによる文化財保存活用方策の調査研究」により、文化財の保存修理の調査や設計監理の場における3Dレーザー計測の有効性が見出された一方、今後さらに利用方法に工夫と開発を必要とする事項などが確認されました。それらの課題に対する研究開発として、今後3か年にわたり研究事業を行ってまいります。【詳細記事 [http://www.krcnet.co.jp/f\\_topics017.htm](http://www.krcnet.co.jp/f_topics017.htm)】



#### 本研究事業の背景と目的

### KRC NEWS

- ★**しまね建設技術展 2004** 平成16年12月17日(金)～18日(土)、出雲ドーム(出雲市出雲健康公園内)  
技術展には「騒音振動監視システム サイレントロボ」と「3Dレーザースカナ ILRIS-3D」を出展致します。  
どちらも会場にて、機器の展示と実演を予定しておりますので、ぜひご来場下さい。

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

電子メール：[krc@krcnet.co.jp](mailto:krc@krcnet.co.jp) ホームページ：[http://www.krcnet.co.jp/mail/mail\\_maga.htm](http://www.krcnet.co.jp/mail/mail_maga.htm) で承っております。